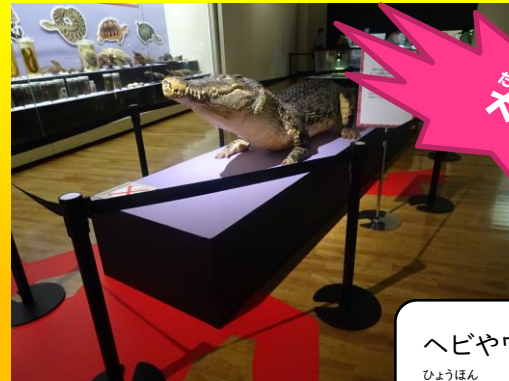


〒805-0071 北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
Tel 681-1011 Fax 661-7503
HP: https://www.kmnh.jp/
発行: いのちのたび博物館 ミュージアムティーチャー

9月になりましたが、まだまだ暑い日々が続いていますね。熱中症などにならないように気を付けてください。さて、今回は、多くの方にお越しいただいている夏の特別展「ゾクゾク発見! 両生類・は虫類展」の展示の一部を紹介いたします。9月16日(月・祝日)まで開催していますので、ぜひご覧ください。

夏の特別展 「ゾクゾク発見! 両生類・は虫類」



ヘビやワニの触れる標本もあるよ。



世界最大級のオオサンショウウオ類の標本があるよ。



いのたん

さんちゃん

はくぶつかん し 博物館からのお知らせ!!

ひがしだ 東田ミュージアムパーク「子どもスクール」(後期)

ぜん かいこうざ かいき れいわ れいわ 全11回講座 会期 令和6年10月~令和7年3月

たいしょう しょうがく ねんせい ちゅうがく ねんせい しめきり れいわ 対象 小学5年生~中学3年生 締切 令和6年9月20日(金)

※原則毎回参加できる方に限らせていただきます。

※詳しくは「いのちのたび博物館」ホームページにアクセスしてください。



いのちのたび博物館



KGG



スペースLABO

※環境ミュージアムや安川電機みらい館での講座もあります。 ※写真は前期の様子です。

ミュージアムのタネ



なぜ江戸時代の大名は大勢の行列で江戸に向かったのか?

寛永12年(1635)6月、江戸幕府3代将軍徳川家光は、武家諸法度で、大名が江戸に参勤することを定めました。参勤とは、家臣が主君のもとに参り、お目にかかること、また勤めを果たすことを意味します。つまり、大名が将軍に挨拶することによって主従関係を確認し、江戸警備を勤めるのが参勤です。そのため大名は、武器を携えた大勢の家臣を引き連れて江戸に向かい、1年の勤めを終えると領地に帰ったのです。これが参勤交代の制度です。

参勤交代は、大名にとって大きな経済的負担となりました。それは大勢の家臣を連れて江戸と領地を往復する費用がかかり、加えて、領地での生活とは異なり、江戸での生活はあらゆるものを買求める必要があり、滞在費が莫大なものとなったためです。

ただ、注意すべきなのは、寛永12年の武家諸法度にある「従者の員数近來甚だ多し。且は国郡の人民の勞なり。向後その相応を以て、これを減少すべし」という文言です。意味は、「この頃、大名行列の人数がとても多い。国や郡の金の無駄遣いであり、人民の負担である。今後は領地高にに応じた人数とし、人数を減らすように」ということです。

ところが、4代将軍家綱以降の歴代将軍(ただし、7代家継・15代慶喜は除く)が出した武家諸法度にも、参勤の従者が多くならないように命じる文言があります。定型文になっていたという考え方もあるでしょうが、果たしてそうでしょうか。

江戸時代は身分制社会であり、大名のなかにも序列争いがありました。その一つが、行列の人数争いでした。行列の人数が多い大名のほうが少ない大名より序列が上という見方がされていました。その大名同士の序列争いが激化した結果、将軍が人数を減らすように命じても、大名は他の大名と競って人数を増やし、減らすことをしなかったようです。

その一方で、大名行列を編成することすら負担であった大名がいたことも事実で、各大名によって事情は異なります。つまり、幕府が一方的に経済的負担を大名に強いたというだけでなく、大名が自らの負担を大きくしてまで行列の人数の多さを競い、大勢の行列となっていたのです。大名が行列の人数を競うことまで幕府が見通していたか否かは意見が分かれそうなところです。



五雲亭(歌川)貞秀筆「西国内海名所一覽」(部分、当館蔵)

小倉城下「常盤橋」(常盤橋)の西側、室町(現小倉北区)を大名行列が進む様子が描かれています。

歴史課 学芸員 守友 隆